



日野市教育広報

第77号

発行 日野市教育委員会(編集 教育部学校課)

教育目標

ひ ら こ う 世 界 へ
の び よ う と も に
つ く ろ う 夢 を
こ え よ う 自 分 を

紙面から

- 米田裕治教育長・西田敦子教育委員 …… 1
プレゼンテーション大会・支援シートの活用・他 …… 2
ひのっ子ががんばっています・シェフコンテスト・他 …… 3
企画展示・日野市民体育大会・中央公民館の体験学習 …… 4

大きな夢と希望を

教育長 米田裕治



新しい年が始まりました。今年も希望あふれるよき年であることを願うとともに、みなさまのご健勝をお祈りいたします。

さて、世の中は大きな閉塞感につつまれています。こんなときだからこそ、子どもたちの力に期待したいと思います。

毎日ランドセルからでてるお便りのなかから子どもたちの力強いメッセージが飛び出してくることがあります。

国語の教材で学んだこと。

お父さんとのけんかでお互い素直になれなかったけど最後は「ぴりつとからくて」「ほんのりあまかった」カレーライス。自分たちと同じ学年の主人公「ぼく」に共感し、気持ちを込めて読み込んだ子どもたちの「味」は、私たちの想像を超えて人の成長の感動を伝えています。

また、全員で取り組んだ遊びのこと。

みんな本気で戦って傷だらけでも、だれひとり嫌がっている

人がいなくて、大笑い。とってうれしくなった……。

こんな素直な感想が仲間のすばらしさ、人がみんなで楽しめたときの感動を伝えています。

人が共生するよろこびが子どもの感性ではじけています。

運動会のこと。

組体操で、まだいける、あきらめるな！曲には合わせられなかったけど全力でがんばった。全員で力を合わせることでできた。つかみ取ったものが伝わってきます。

子どもたちの力、感性、洞察力はすばらしいと思います。大人を越えて力強いメッセージがあります。

子どもたちを大きく育ててほしいと願います。学びを、大人が考えるテクニックや定番の解釈ではなく、子どもたちが自然に発している洞察に焦点をあわせ、人がより豊かに生きるための力や感性、バイタリティを育てることを大切にしたいと願います。

大人がニュートラルになり、子どもに学ぶ。子どもの発信を受け止め、その子どもが人として大きな器を育む営みに大人が力を貸す。

学校、保護者、地域とみなさんで目線が合えば幸いです。

時代を拓いていく力は大きな夢と希望のもとに育ちます。

ふゆも大きく、人びとも大きく、新しい年にむけて！

言語活動を豊かに 学校で、家庭で、そして地域社会で……

日野市教育委員会委員

西田敦子



この度、日野市教育委員会委員を拝命いたしました。職責の重さをひしひしと感じております。私は、日野市の学校教育に長く携わって参りました。その後も、教育や社会的な活動に関わる仕事をさせていたたいしています。また、息子たちも、日野市の保育園でお世話になり、小・中学校で学び、親子共々育てていただきました。こよなく日野市を愛する市民の一人として、感謝の気持ちを込めて一生懸命、務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

さて私は、去る12月4日、日野市民会館の大ホールで開催された第2回児童・生徒によるプレゼンテーション大会に出席しました。小学校16校と中学校4校の代表の子どもたちが、ICTを効果的に活用しながら、自分たちが体験したことや調べたこと、そこから得た考えや思いを堂々と発表していました。

発表内容はそれぞれに個性があり、しかもICTを活用した発表は分かり易くて楽しく、態度も立派でした。私は会場の方々と一緒に、たくさんの拍手を子どもたちに送りました。たいへん感動した一日でした。

大会の成功は、日野市の小・中学校で推進してきたICT活用教育の実践が、しっかりと実を結んでいるからであると同時に、新しい学習指導要領のもとで、これから本格的に教育実践が始まる「言語活動の充実」の取り組みが、既に、各学校の教育活動全体で進められていることによると思います。

ご承知の通り、新しい学習指導要領では、重要な学力である“基礎的・基本的な知識・技能の習得”と“それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等”そして“主体的に学習に取り組む態度”を育てるために、各教科や領域で言語活動を充実することが示されました。この「言語活動の充実」は、今回の学習指導要領の改定で示された改善の視点のなかでも、重要な一つです。

日本の国は、長い歴史の中で美しい言葉や、豊かな表現を磨き、言葉を大切にする文化を築いてきました。言語生活や人間関係に課題をもつ今日の社会状況にあって、子どもに身につけさせたい生きる力の一つとして、学校教育が、全教育活動の中で言語の力を育てる教育を推進するこ

とは、非常に喜ばしくその成果が期待されます。

日野市の各学校で、地域や学校の特色を生かした創造的な教育実践を進め、言語を通して子どもが輝く場をたくさん作ってほしいと思います。

また、子どもが言葉や表現の仕方を学ぶ一番の教室は、家庭です。子どもは、両親の繰り返す優しい語り掛けによって始めて言葉を覚え、家族の語らいの中で語彙を増やし、思いや考えを伝えあう力を身に付けて、人と良い関係が築けるようになっていきます。

新しい年を迎えた機会に、ご家庭で、日ごろ子どもに優しい言葉を掛けているか、家族同士が気持ちを素直に話したり、気持ちを汲みながら話を聞いたりしているか、挨拶や言葉づかいはどうか、等を振り返ってみるのもよいと思います。

今年は、学校で、家庭で、そして地域社会で、言語活動を豊かにすることに気を配り、人と人のつながりが、より深まる年でありたいと思います。

